

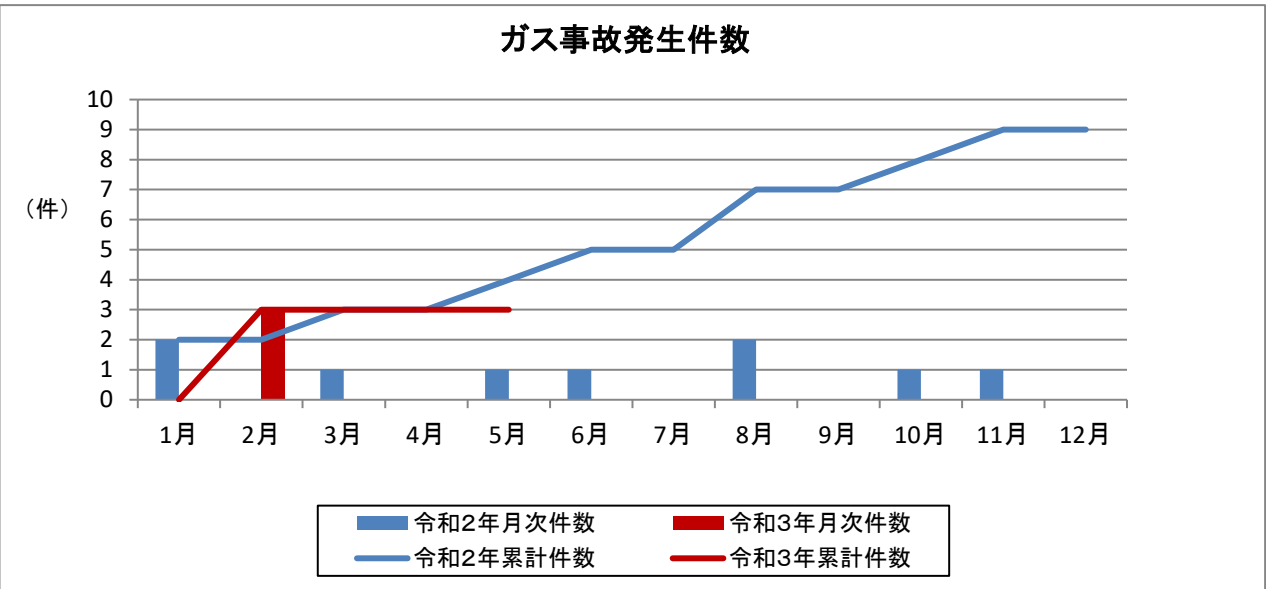
【令和3年】

■管内における事故発生状況(5月速報値)

※数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。

ガス事業法(ガス関係報告規則第4条)関連

事故の種別 (事象別)	3年5月分				前月件数	前年同月 件数	3年累計				2年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
ガス工作物の損壊又は操作等による人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工事中のガス工作物の損壊又は操作等による人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
供給支障事故					0	0	1	0	0	0	3	0	0	0
製造支障事故					0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
ガス工作物の損壊事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガス漏洩による爆発又は火災事故					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
避難、家屋破損、交通困難等					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
消費機器使用に伴う人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費機器、ガス栓から漏洩したガスへの引火による事故					0	1	1	0	0	0	4	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	9	0	0	0



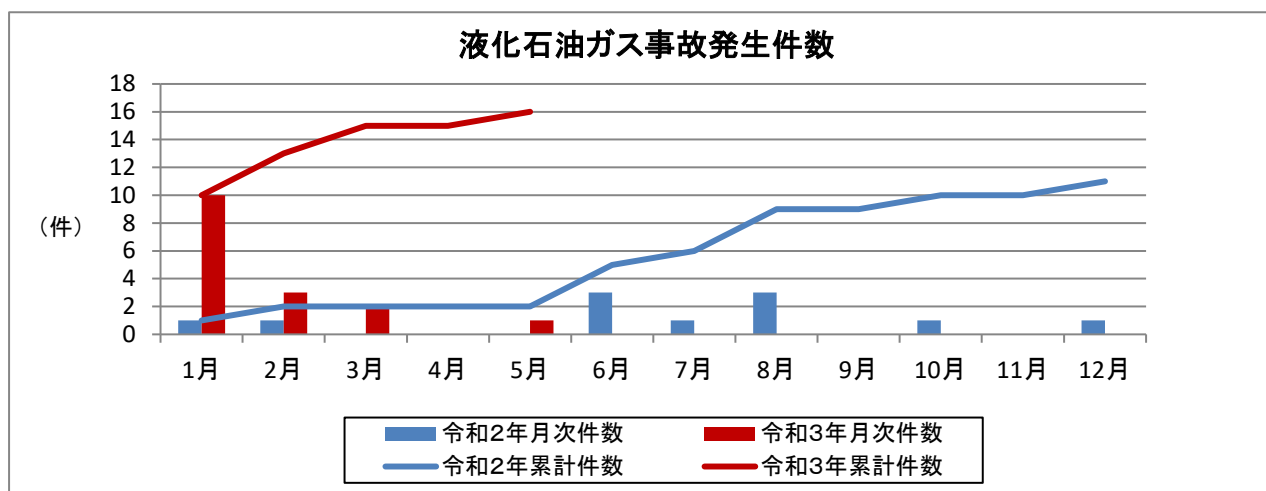
事故の種別 (段階別・事業別)		3年5月分				前月件数	前年同月 件数	3年累計				2年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
製造段階	旧一般ガス等					0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	旧簡易ガス					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
供給段階	旧一般ガス等					0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	旧簡易ガス					0	0	1	0	0	0	3	0	0	0
消費段階	旧一般ガス等					0	1	1	0	0	0	4	0	0	0
	旧簡易ガス					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	9	0	0	0

○液化石油ガス保安法(液化石油ガス関係事故措置マニュアル)関連

事故の種別		3年5月分(※2)				前月件数	前年同月 件数	3年累計				2年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
漏えい		1				0	0	4	0	0	0	9	0	0	0
漏えい爆発						0	0	0	0	0	0	1	1	2	17
漏えい火災						0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
中毒・酸欠						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小　　計		1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	11	1	2	18
雪害(※1)	漏えい					0	0	11	0	0	0	0	0	0	0
	漏えい爆発					0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	漏えい火災					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　　計		1	0	0	0	0	0	16	1	0	0	11	1	2	18
容器の喪失又は盗難		1				2	3	6	0	0	0	12	0	0	0

※1: 除雪、屋根からの雪下ろし等の人為的なものは含めていない。(人為的なものについては、一般事故として集計)

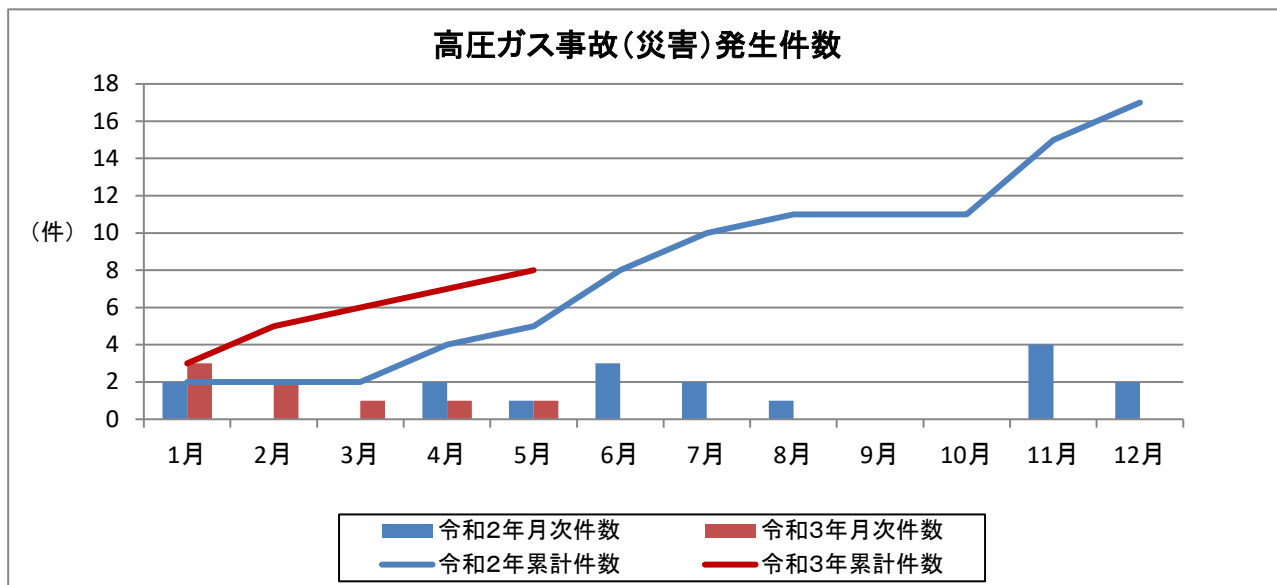
※2: 各県から速報のあったものを計上。



○高圧ガス保安法(高圧ガス保安法事故措置マニュアル)関連

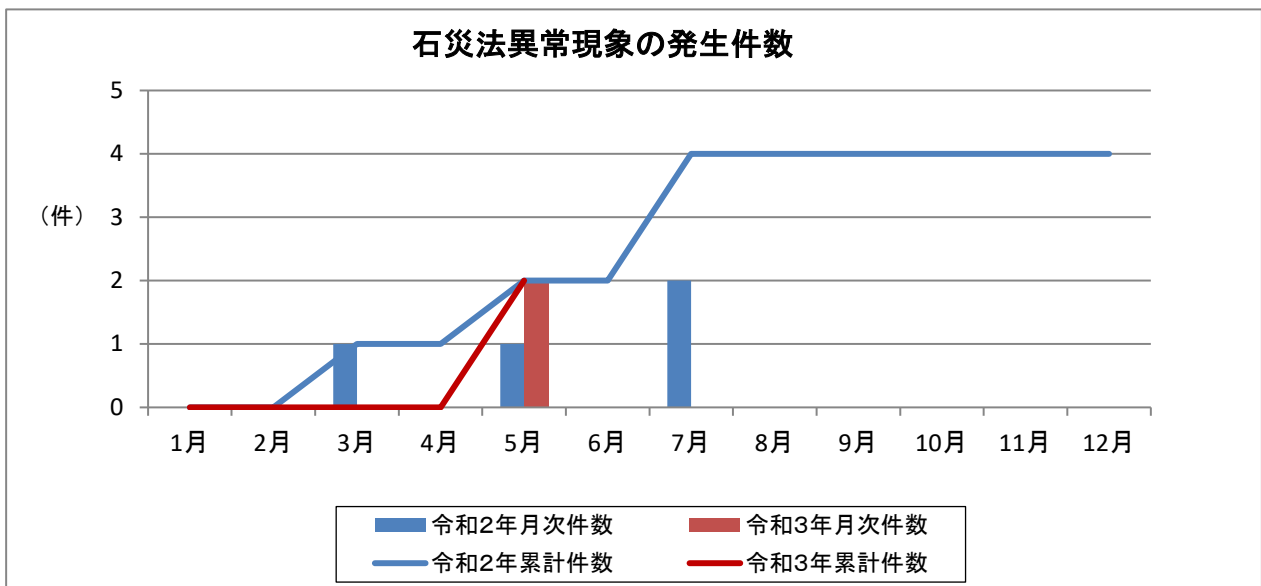
事故の種別		3年5月分(※2)				前月件数	前年同月 件数	3年累計				2年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
災害	爆発					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	火災					0	1	0	0	0	0	2	0	0	2
	噴出・漏えい	1				1	0	8	0	0	0	11	0	0	0
	破裂・破損等					0	0	0	0	0	0	3	0	1	0
	その他					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
小 計		1	0	0	0	1	1	8	0	0	0	17	0	1	2
容器の喪失又は盗難						0	1	1	0	0	0	8	0	0	0
危険な状態						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		1	0	0	0	1	2	9	0	0	0	25	0	1	2

※3:各県から速報のあったものを計上。



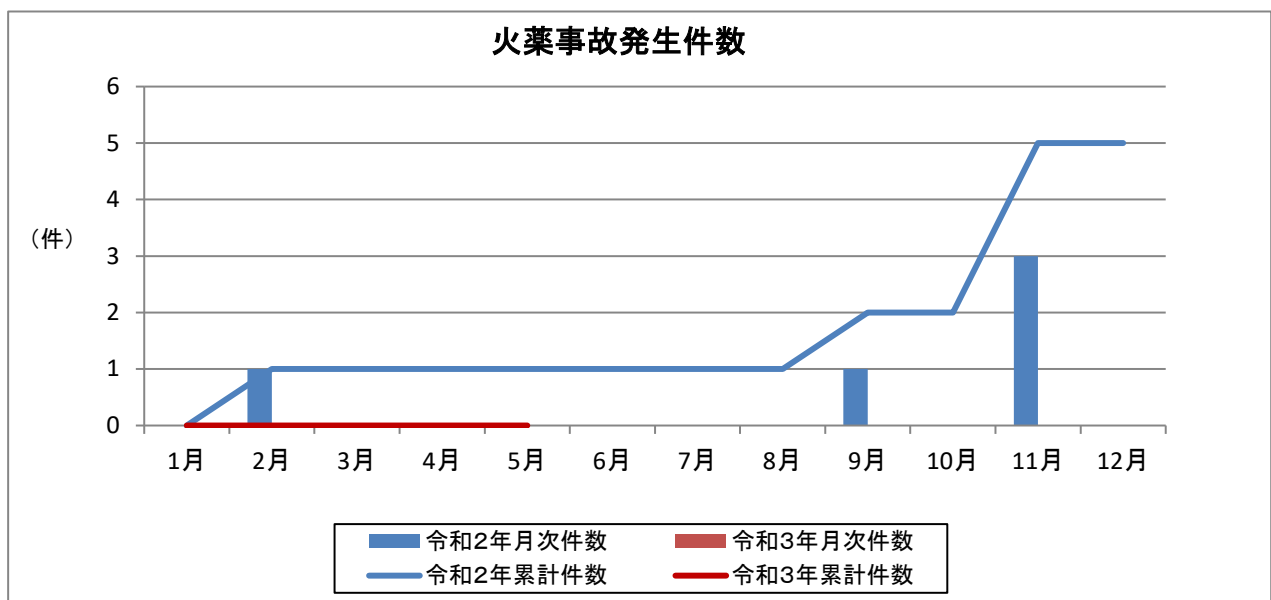
○石油コンビナート等災害防止法(第23条第1項の異常現象)関連

異常現象の種別	3年5月分				前月件数	前年同月 件数	3年累計				2年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
出火	1				0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
石油等の漏洩	1			3	0	1	1	0	0	3	3	0	0	0
その他					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合 計	2	0	0	3	0	1	2	0	0	3	4	0	0	0



○火薬類取締法(火薬類事故措置マニュアル)関連

取扱の種別	3年5月分				前月件数	前年同月 件数	3年累計				2年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
製造中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費中					0	0	0	0	0	0	5	0	0	1
運搬中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貯蔵中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がんろう中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　　計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1



◆令和3年(2021年)の事故概要

○ガス事業法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2021年2月13日	宮城県	ガス小売事業者	消費機器からの漏えい着火	福島県沖地震の3日後、一般需要家より「地震後ガスが使えず、また、コンロ用ゴムホースを焦がして穴を開けてしまった」との連絡を受けたが、外出中とのことで、連絡のあった当日は保安閉栓措置を行った。翌日、担当者が訪問し、コンロ用ソフトコードの中央部及びコンロ背面部に焼損を確認した。グリル使用中に地震があり、直後にコンロから火が出てソフトコードが燃え、コンロより上がった火はすぐに消えたとのこと。 原因は、ソフトコード中央部分がグリル燃焼室下部に近接しており、グリル使用時に常時熱影響を受ける状態であったため、影響箇所が徐々に劣化(一部炭化)していたところ、地震により劣化部に亀裂が生じ、当該箇所から漏出した未燃ガスがグリル内に流入しバーナー炎を着火源として、ソフトコード及びコンロ背面の焼損に至ったものと推測される。	人的被害:なし 物的被害:ソフトコード及びガスコンロの各一部を焼損
2021年2月13日	福島県	ガス製造事業者	製造支障	福島県沖地震(現地:震度6強)の発生に伴い、製造所への電力供給が遮断し、製造ならびに送ガスが自動停止した。地震発生に伴うガス工作物への影響が懸念されたことから、同工作物が問題ない状態である事の確認が取れるまで、ガス発生設備および付属施設の停止を継続した。停電後、外部電源の復帰まで非常用電源により、ユーティリティ関連施設の運転を継続した。所員による構内緊急点検を行い、配管の沈下等を確認した。全施設の健全性確認を行い、ガス発生設備を順次運転した。導管送ガス向けは、39時間40分後に製造再開し、発電所向けは約85時間後に製造再開体制が整った。	なし
2021年2月13日	福島県	ガス小売事業者	供給支障	福島県沖地震(現地:震度6弱)により特定製造所の感震遮断装置が作動し、供給が停止した。事業者が供給再開に向けて圧力保持による漏えい確認を行ったところ、漏えいが認められた。漏えい箇所の特定に時間を要することから、4階建て集合住宅9棟及び集会所のうち191戸へのLPボンベによる仮設供給を行うこととし、全ての仮設供給が完了するまで約16時間の供給支障となった。漏えい箇所を調査した結果、集合住宅2棟の敷地内建物コンクリート基礎飛込み手前付近の灯外内管接続に使用していたメカニカル継手部からガスが漏えいしていることを確認したため、継手ねじ部の増締め作業を実施し、発生から約4日後に導管供給が復旧した。漏えい原因は地震により、継手部ねじが緩んだことによるとみられる。	なし

○液化石油ガス保安法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2021年5月27日	福島県	消費者	漏えい	アパートの外壁が落下し、軒下に設置されていたガス供給設備に当たり、ガスが漏えいした。需要家より通報を受けたガス事業者の担当者が漏えい箇所を確認し、ホースの交換作業を実施した。漏えい量については、不明。原因は、老朽化した外壁が落下したことにより、容器に接続されていたホースが損傷し、ガスが漏えいしたものと推定される。	なし
2021年3月25日	秋田県	消費者	漏えい	現場の近くに住む住人がガス臭いことに気づき消防署へ連絡をし、消防署からは、供給している販売会社ではない現場近くの販売会社へ連絡した。同社員が現場に駆け付け、バルク貯槽の元バルブを閉めガス漏れが止まった。この時点で、二段式一体型調整器よりガスが漏洩していることを確認した。販売会社の社員が現地に到着し、直ちにバルク周辺とアパート周辺のガス検知作業を実施し、ガス漏れが無いことを警察署員と確認した。LPガスの漏えい量は、約42.8kgと推定される。原因は、調整器の不具合と見られるが詳細は不明。	なし

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2021年3月8日	山形県	消費者	漏えい	消費者から「ガスが出ない」との連絡が販売事業者営業所に入り、出勤した同所員が現場確認をした結果、雪で埋まっていた配管の一部の損傷が確認され、同日中に損傷箇所の修繕を行った。LPガスの漏えい量は、約6.6kgと推定される。原因は、雪の重みにより配管が引っ張られて損傷したもの。	なし
2021年2月15日	山形県	消費者	漏えい	一般消費者からの「ガス臭がする」との連絡が委託先連絡事業所を通じて販売店営業所に入り、同所員が現場確認した結果、調整器とガス容器の接続部の破損を確認したため、容器のバルブを閉止しガス漏えいを止めた。漏えい量は、約16.2kgと推定される。雪害によるものであり、容器(50kg×2本)付近は雪囲いがされていないかった。	なし
2021年2月8日	山形県	消費者	漏えい	一般消費者からの「ガス臭がする」との連絡が委託先連絡事業所を通じて販売店営業所に入り、同所員が現場確認した結果、調整器とガス容器の接続部の破損を確認したため、容器のバルブを閉止しガス漏えいを止めた。漏えい量は、約58.2kgと推定される。雪害によるものであり、容器(50kg×2本)付近は雪囲いがされていないかった。	なし
2021年2月7日	秋田県	消費者	漏えい	一般消費者宅の隣家住人がガス漏れを発見し、消防に通報し、消防から連絡が販売業者に入り、営業所員が点検作業を実施した結果、ガスメーターユニオンネジ部(供給管)の破損を確認した。ガス漏えいについては、同営業所員より前に現場入りしていた消防署員が容器のバルブを閉止し、止まっていた。原因は、隣家でつららを落とした際に、氷塊がガスメーター上部を直撃してガスメーターユニオンネジ部が破損したもの。	なし
2021年1月27日	秋田県	消費者	漏えい	一般消費者宅において、住人がガス臭と台所のガス漏れ警報器が鳴っているのに気づき、ガス設備を確認したところ、容器からガスが漏れているのを確認(容器が雪で埋もれていた状態)し、容器のバルブまで雪をかいてバルブを閉止(50kg×2本立て設備のうち1本を締めた)したが、まだガスが漏えいしているため消防署に連絡した。到着した消防隊がもう1本のバルブを閉止したのち、販売事業者の社員が復旧作業を実施した。原因としては、積雪により供給設備が雪で埋もれ、雪の圧力が加わり片袖型自動切替式調整器の軸がひび割れし、ガス漏えいが生じたものと推定される。	なし
2021年1月27日	岩手県	消費者	漏えい	一般消費者宅において、ガスコンロの火がつかないことから、住人が建屋内部及び外部を点検したところ、落雪により高圧ホースが容器から外れていることを発見し、容器の元バルブを閉めた。連絡を受けた販売事業者職員が現場の状況を確認したところ、設置されていた20kg容器3本のうち、2本から漏えいしていることを確認し、高圧ホースを張力式に交換のうえ、調整器を壁に固定する措置を行った。雪害対策が不十分であったものと考えられる。	なし
2021年1月27日	岩手県	消費者	漏えい	2階建てアパートにおいて、落雪により、50kg容器4本のうちの1本に接続する高圧ホースが破損し、ガスが漏えいした(漏えい量不明)。住民の一人が元バルブを閉止したうえ、警察に通報した。連絡を受けた県高圧ガス保安協会職員が応急措置後、販売事業者が復旧措置を行った。雪害対策が不十分であったものと考えられる。	なし
2021年1月27日	岩手県	消費者	漏えい	一般消費者宅において、住民が落雪音により屋外を確認したところ、ガス臭があり調整器の破損を確認したため、販売事業者に連絡した。販売事業者は、調整器と容器との接続部が折れて、20kg容器2本のうちの1本が完全に漏えいしたことを確認した。雪害対策が不十分であったものと考えられる。	なし
2021年1月16日	福島県	他工事業者	漏えい	消費者から販売事業者に対し、敷地(庭先)がガス臭いとの連絡を受け、消費者宅を訪問し際に、消費者から敷地内に埋めてある除染土を搬出する作業を実施したとの話があった。販売事業者が同箇所を掘削してみたところ、ガス管に穴(直径40mm)が空いており、漏えいが確認された(ガスの漏えい量は不明)。穴を塞ぐ応急措置の後、ガス管の交換を行った。原因は、他工事での掘削及び杭打ち作業による損傷であり、当該工事について販売事業者への事前の照会は無かった。	なし

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2021年1月16日	宮城県	消費者	漏えい	付近住民からガス臭の通報にて消防隊及び販売店が現場確認をしたところ、共同住宅に設置されているLPガス容器(50kg×6本)の自動切替式圧力調整器の接続部ユニオン部分からのLPガス漏えいを確認した(ガス漏えい量は不明)。現場に臨場した販売店担当者が容器のバルブを閉止し漏えいは停止した。原因は、結合部に使用しているユニオン継手パッキンの経年劣化によるものと推定される。	なし
2021年1月14日	秋田県	消費者	漏えい 爆発・火災	一般住宅において、爆発火災事故が発生し、この住宅が爆発により全壊すると同時に火災が発生し、隣家に延焼した。爆発元の住宅の焼け跡で住民1名が死亡しているのが発見された。調査の結果、前日に屋根からの雪下ろしがあったこと及びガス供給設備のうち調整器のLPガス容器接続部及びガスメーターの管接続部などが損傷していることが確認された。原因は、落雪等により屋外のガス供給設備が損傷し、漏れたガスが雪に囲まれた家屋の周辺や床下に流入し、滞留したガスに何らかの原因で着火して爆発したものと推定される。	人的被害:死者1名 物的被害:全焼2棟(爆発火災1棟、延焼1棟)、部分焼2棟、建物一部破損12棟
2021年1月13日	岩手県	消費者	漏えい	落雪により、軒下に設置されていた20kg容器に直接取り付けの調整器が接続部で折損し、ガスが漏えいした。漏えい量は約9.38m ³ と推定される。接続固定位置の不備又は保安対策が不十分であったところ、落雪により調整器が破損したものと推定される。	なし
2021年1月4日	岩手県	消費者	漏えい	落雪により、軒下に設置されていた50kg容器(2本設置)に直接取り付けの調整器が接続部で折損し、ガスが漏えいした。漏えい量は約35.18m ³ と推定される。接続固定位置の不備又は保安対策が不十分であったところ、落雪により調整器が破損したものと推定される。	なし
2021年1月4日	山形県	消費者	漏えい	落雪により、50kg容器に取り付けた調整器が容器接続部で破損し、ガスが漏えいした。住民が落雪の音に気付き、ガス漏れの音を確認し、すぐに容器のバルブを閉めたが、少量のガスが漏えいしたものの。雪害対策が不十分であったものと考えられる。	なし

○高圧ガス保安法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2021年5月29日	福島県	運送事業者	漏えい	液化窒素の移動式製造装置(タンクローリー)において、運行後の日常点検実施中に操作室内よりガスの漏えい音が聞こえたため、発泡液を塗布したところ、ポンプ吸入側フレキシブルチューブのブレード内部より発泡を確認し、ガスの漏えいが発覚した。発覚後、直ちにガス元栓を閉め、ガスの漏えいを止めた。原因は、走行時の振動及び充てんポンプ運転による振動の繰り返しの応力がフレキシブルチューブのブレード内部に集中し、破損に至ったものと推測される。	なし
2021年4月12日	宮城県	運送事業者	漏えい	事業所敷地内において液化窒素移動式製造設備(タンクローリー)の始業前点検を行っていたところ、配管部からガスの漏れ音が聞こえた。このため発泡液で確認したところ、チャージポンプ吐出側フレキシブルチューブにおいて発泡(漏えい)が確認された。漏えい覚知後直ちにチャージポンプ上流にある元弁を閉めてガスの漏えいを止めた。 漏えい量については、液面計の変化が微量であり不明。原因は、経年劣化及びポンプ等の振動により繰り返し応力が集中してフレキシブルチューブに小さな亀裂が生じ、漏えいしたものと推定される。	なし
2021年3月4日	福島県	運送事業者	漏えい	運送会社の社員が、液化酸素製造設備(タンクローリー)から納入先の貯蔵設備に液化酸素を充てんするため、充てんホースを接続し、ホース・配管のページ及び予冷作業を行おうとしたところ、液排出弁の弁体部からガスが漏えいしていることを発見した。直ちに作業を中断し、液排出弁の上流側の吐出弁を閉止し、漏えい停止させた。同弁には、小さな亀裂が認められた。原因は、経年劣化により腐食したものと推定される。	なし

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2021年2月18日	宮城県	飲食料製造業	漏えい	ユニット型冷凍機を点検するため扉を開けた際にアンモニア臭があったため冷凍機を点検したところ、圧縮機のメカニカルシール部においてフェノール紙(アンモニアに反応し色が変化する紙)の色が一番濃く反応したことから、当該メカニカルシール部からの漏えいと判断した。散水ポンプを作動させ、圧縮機を含めた冷凍機全体に散水し、散水後の水は除害装置で回収・処理した。原因は、当該冷凍機の運転停止により圧縮機のメカニカルシール部へのオイルの供給も途絶えたことから、メカニカルシールの摺動部の気密が保たれなくなり、摺動部の隙間からアンモニアが漏えいしたものと推定される。	なし
2021年2月17日	宮城県	製油所	漏えい	2月13日に発生した地震による被害調査をしていたところ、低温液化石油ガス貯蔵設備であるタンクの附属配管外周に巻き付けている保冷材の表面に霜が付着している箇所を発見した。当該附属配管内のLPガスを抜いたのち保冷材を外し、配管表面の錆を落として配管を確認したところ、配管表面に1センチ程度の穴が開いていた状態を目視確認した。当該附属配管の各所バルブを閉止して縁切りし、LPガスを抜いたことにより穴からの漏えいを止めた。ガスの漏えい量は不明。原因は、腐食して減肉状態にあったところ、地震で力がかかり、割れて穴が開いたものと推定される。	なし
2021年1月26日	宮城県	自動車解体・部品販売業者	漏えい	当該事業者が、1月20日に自動車のエアコンからフロン類を高圧ガス容器に回収し、1月26日に当該容器を高圧ガス容器回収業者が回収に来た際に、当該容器が軽いことに気付くとともにバルブの緩みが確認され、容器内のフロン類全量が大気放出したことを覚知した(漏洩量は9.9kg)。原因は、高圧ガス容器のバルブに緩みがあったことによるものと考えられるが、詳細は調査中。	なし
2021年1月22日	山形県	医療関係製造業者	漏えい	工場において、空調設備のガス圧力低下警報が鳴り当該空調設備が停止したため、工場職員と冷凍機器メーカーの社員が点検したところ、当該空調設備の空冷式チラーの圧縮機溶接部が破損し、フロンR410aが漏えいしていたことを確認した。漏えい量は約10.6kg。原因は、空冷式チラーの圧縮機溶接部が破損したためであり、詳細は調査中。	なし
2021年1月21日	福島県	第1種製造事業者	漏えい	当該事業所付近の住民が警報音に気づき10分ほど鳴り止まなかったため音源の方向に向かったところ、ガス臭を感じガス漏れと察知したことから警察と消防へ通報。警察と消防が事業所に到着。その後到着した事業所職員が警察と消防の立ち会いのもと調査したところ、貯槽やローリー受入ホースなどと接続している配管にあるバルブのうち1つが凍結しており、LPガスが漏えいした箇所と推定した。同職員がグラウンドナット部を増し締めし、漏えいが止まったことを確認した。LPガスの漏えい量は、推定約2.500m ³ 以上。原因は、バルブ本体内部のゴムパッキンとグリスが経年劣化により硬化し、LPガスの通り道が出来たことによりグラウンドナット部から漏えいしたものと推定される。	なし

○石油コンビナート等災害防止法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2021年5月17日	宮城県	製油所	漏えい	硫黄貯蔵タンクにおいて、出口フランジをガスケット交換のため開放した際に液体の硫黄が漏えいし、作業員5名中、3名の顔面と首、2名が衣服に液体(高温)状の硫黄がかかった。直ちに当該配管の縁切りを行い、漏えいが停止した。漏えい量は、2,500klであるが、硫黄は常温で固化するため敷地外への漏えいはなかった。原因の一つとして、内容物の特性を考慮した適切な環境設定計画(縁切り範囲、固化範囲、固化の確認方法)を策定していなかった。	人的被害:軽症3名 物的被害:なし

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2021年5月4日	福島県	発電事業者	火災	発電所敷地内にあるIGCCガス化炉設備(石炭をガス化する設備)において、熱交換器胴体側リップシール部から漏えいしたガスに着火している状況を同発電所職員が発見し、消防へ通報した。プラントを緊急停止し、ガス供給を停止すると共に減圧して鎮火を確認した。原因は、胴体側リップシール部より高温ガスが漏えいし、養生に使用していた防災シートが燻り、リークガスに着火したと推定される。	なし

○火薬類取締法

なし